



成長可能性に関する説明資料

株式会社日本動物高度医療センター（6039）

2015年3月26日

1	会社概要	P.3
2	市場動向	P.14
3	JARMeCグループの事業戦略	P.19
4	成長戦略	P.23



1. 会社概要

会社名	株式会社日本動物高度医療センター Japan Animal Referral Medical Center: JARMeC
主要な事業内容	犬・猫向けの高度医療を行う二次診療専門動物病院
所在地	川崎本院：〒213-0032 神奈川県川崎市高津区久地2-5-8 名古屋分院：〒468-0003愛知県名古屋市天白区鴻の巣1-602
代表取締役社長	平尾 秀博
設立年月日	2005年（平成17年）9月26日（川崎本院開業 2007年（平成19年）6月1日） （名古屋分院開業 2011年（平成23年）12月1日）
資本金	269,133千円（資本準備金169,133千円）（2015年3月26日現在）
従業員数	112名（非常勤22名を含む）（2015年1月31日現在）
決算期	3月末
連携病院数	3,005病院（2015年1月31日現在）
連結対象子会社	株式会社キャミック・JCアライアンス株式会社

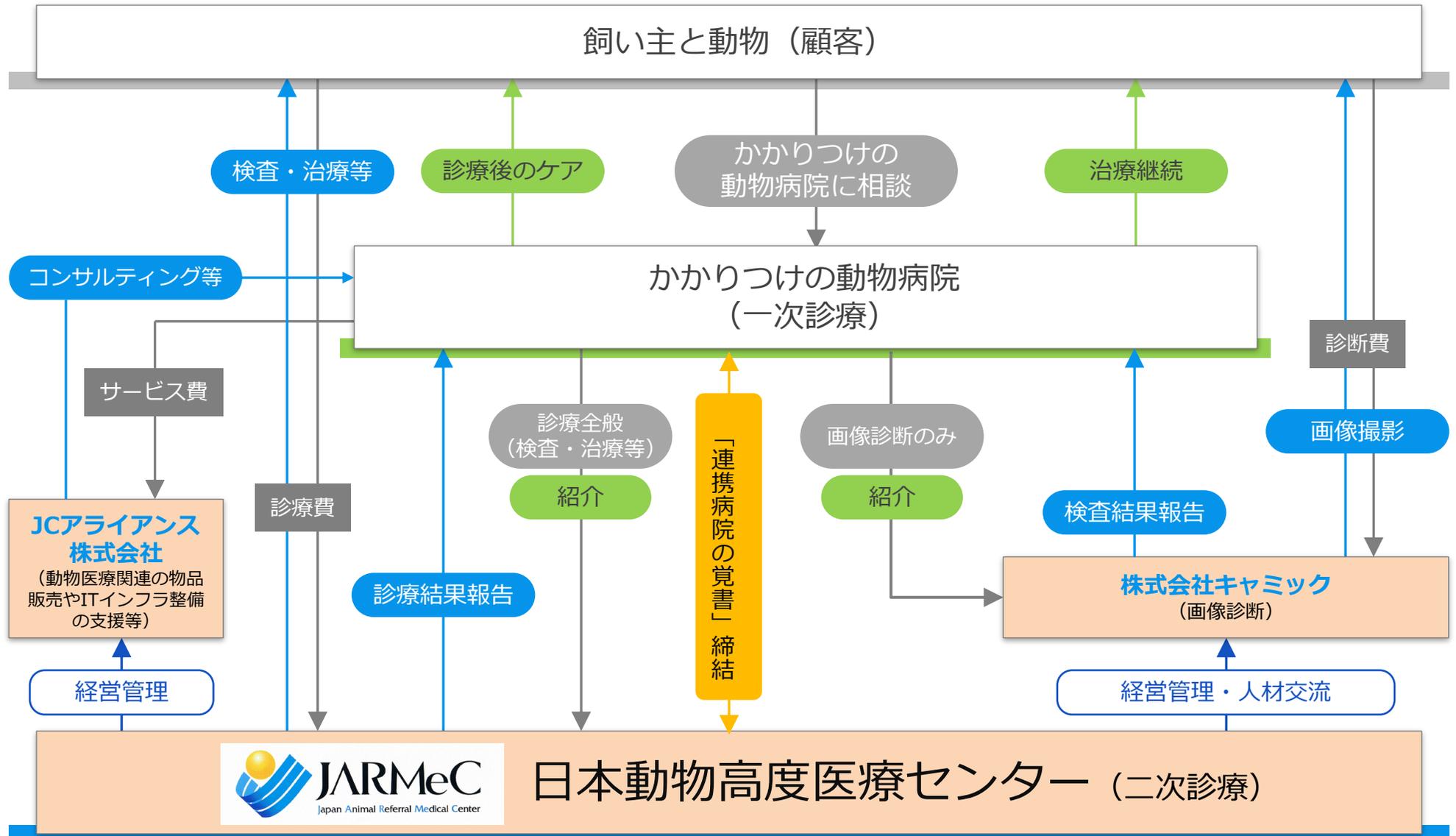
JARMeCは、動物医療界において、

「臨床や教育現場で活躍する人材教育」の環境を整え、

「動物医療技術の向上を担う臨床研究」にチャレンジし、

教育、臨床研究の実践の場所としての
「高度医療（二次診療）」を地域の連携病院と協力して提供する

以上により広く社会に貢献することを理念としています。



検査装置



放射線治療装置



PET-CT



MRI



X線TVシステム



超音波診断装置

手術室



手術室 (全6室)

- 第1
心臓血管外科・脳神経外科・整形外科
- 第2
腫瘍科
- 第3
眼科
- 第5・第6
多目的
- 第7
歯科口腔外科・内視鏡

免疫治療



免疫治療部門室

病理・血液検査センター



病理検査センター

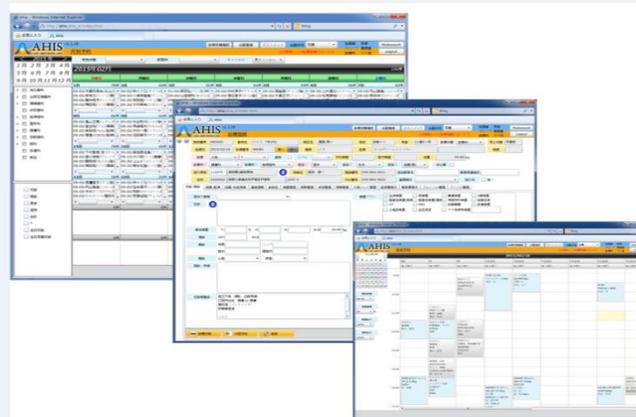


血液検査センター

電子カルテ・院内画像ネットワーク



画像ネットワーク (FABRICA)

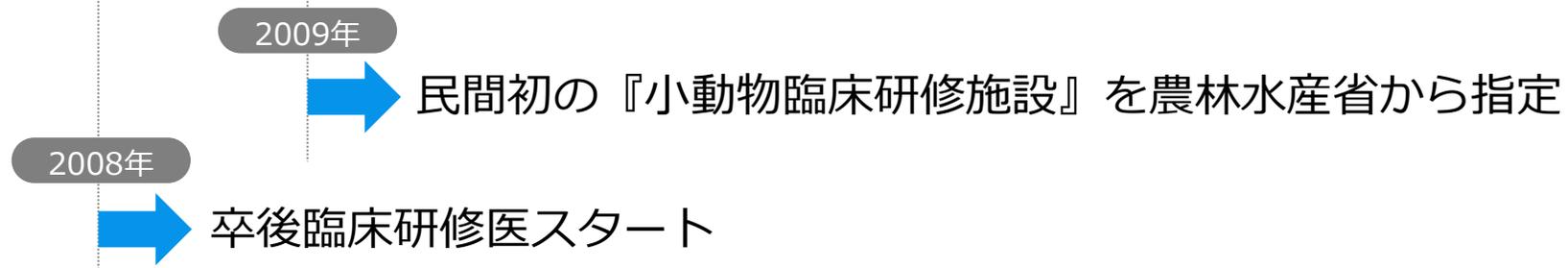


電子カルテ (AHIS)

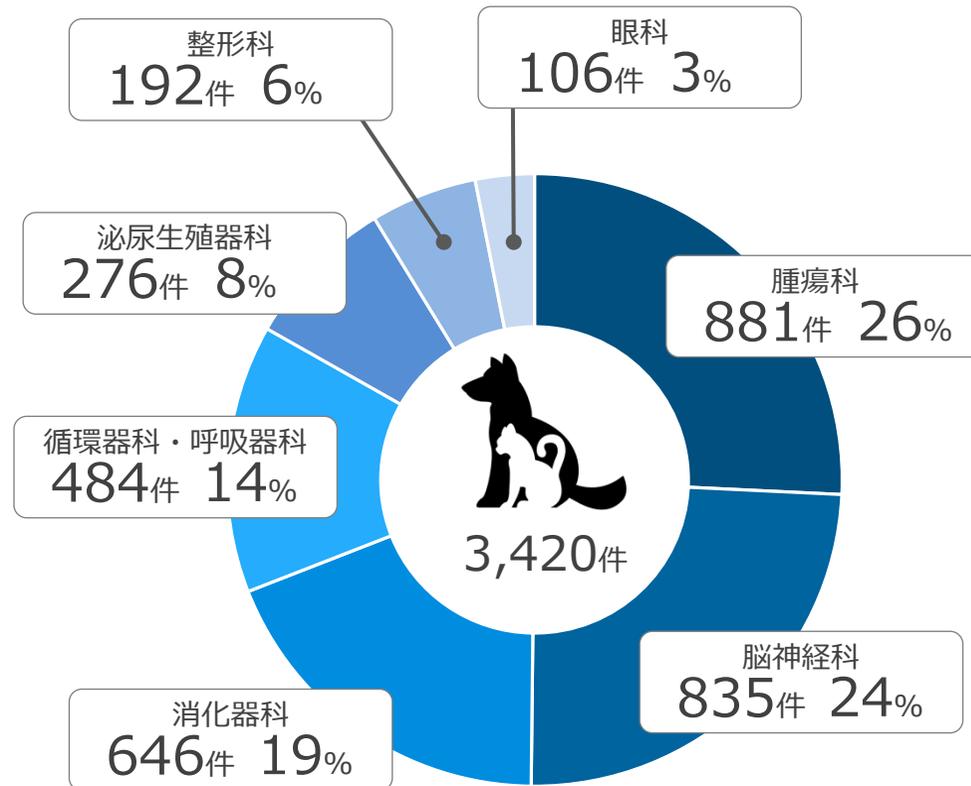


JARMeC職員数

		2008年3月	2009年3月	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月	2014年3月
獣医師		27	35	40	46	51	56	61
	常勤	18	28	29	32	37	43	45
	(うち研修医)	10	5	8	4	7	11	11
	非常勤	9	7	11	14	14	13	16
動物看護師・技師		6	21	17	19	25	28	31
管理本部・医療事務部		7	10	10	12	14	19	23
計		40	66	67	77	90	103	115



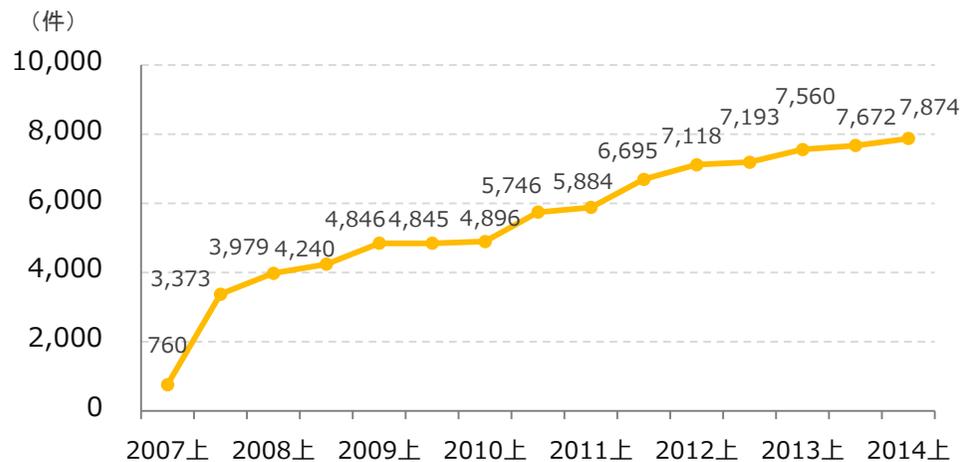
診療科別症例割合



*平成25年4月1日～平成26年3月31日の1年間の
診療予約情報(電子カルテ)をもとに作成

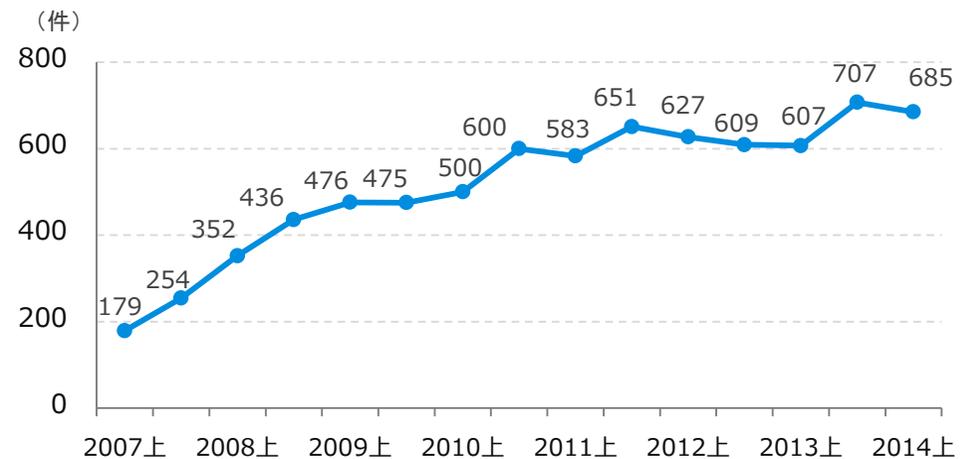
診療件数・手術件数の推移

診療件数の推移

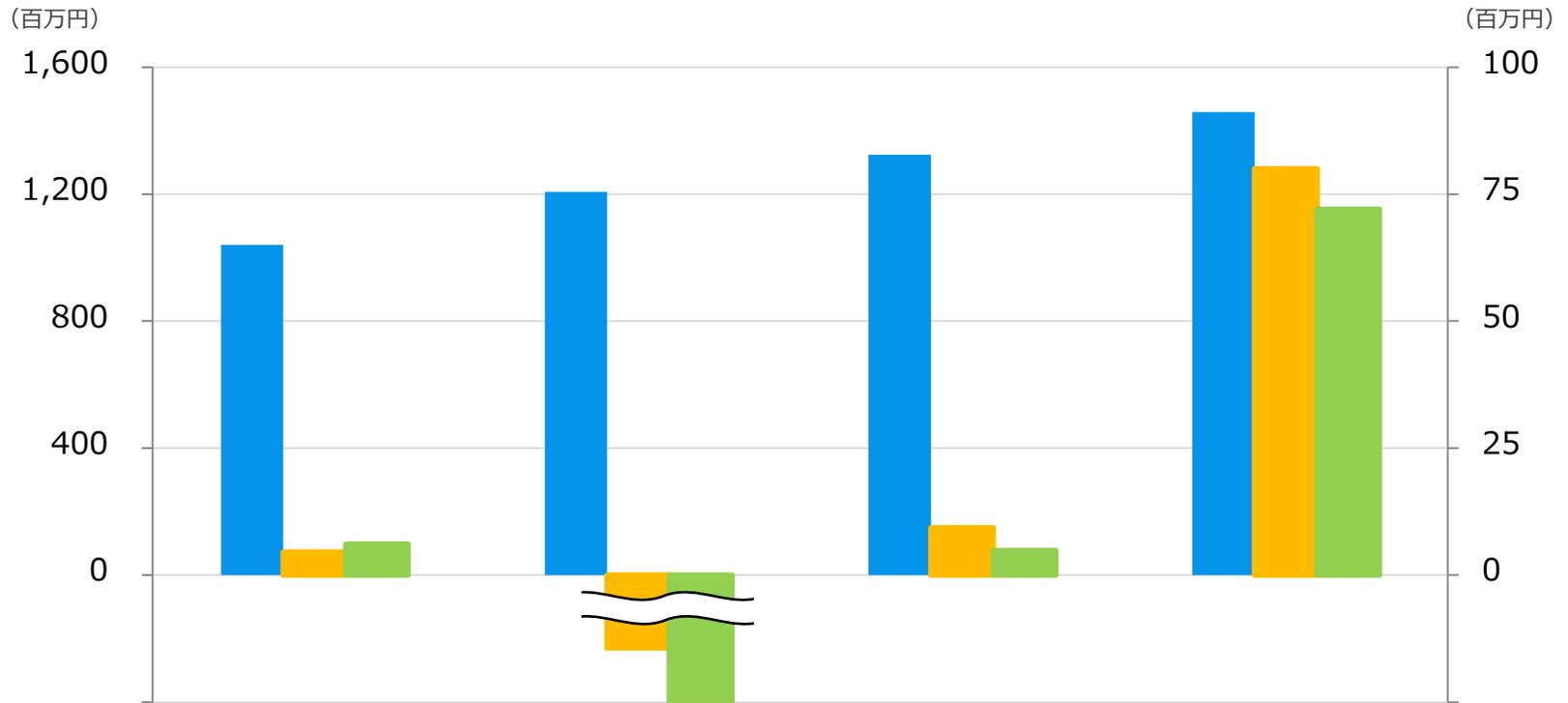


注：診療件数は初診と再診の合計

手術件数の推移

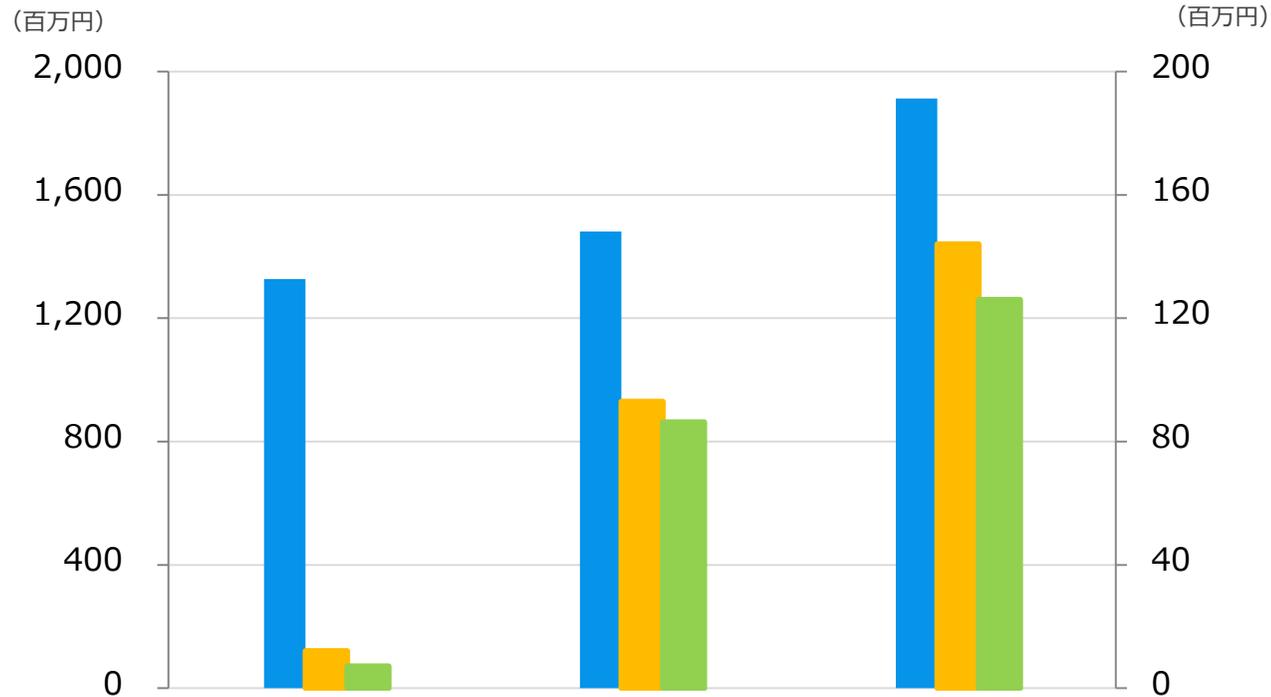


業績ハイライト（単体）



	第6期 (平成23年3月期)	第7期 (平成24年3月期)	第8期 (平成25年3月期)	第9期 (平成26年3月期)
■売上高	1,040,217千円	1,207,650千円	1,324,262千円	1,459,422千円
■経常利益 (右軸)	4,803千円	△45,849千円	9,922千円	85,315千円
■当期純利益 (右軸)	6,495千円	△92,366千円	5,162千円	76,845千円

業績ハイライト（連結）



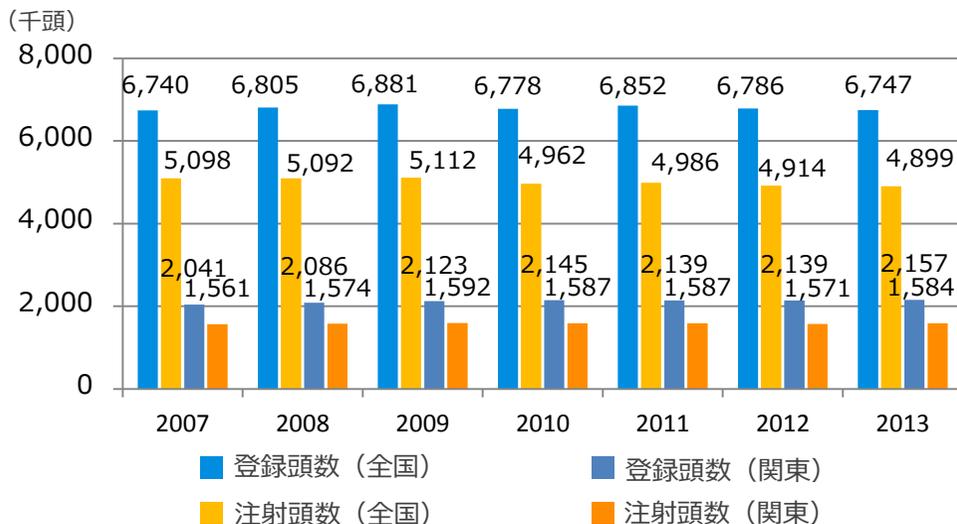
	第8期 (平成25年3月期)	第9期 (平成26年3月期)	第10期 (予) (平成27年3月期)
■ 売上高	1,327,280千円	1,481,414千円	1,913,000千円
■ 経常利益 (右軸)	12,027千円	92,942千円	144,000千円
■ 当期利益 (右軸)	7,087千円	86,237千円	126,000千円



2.市場動向

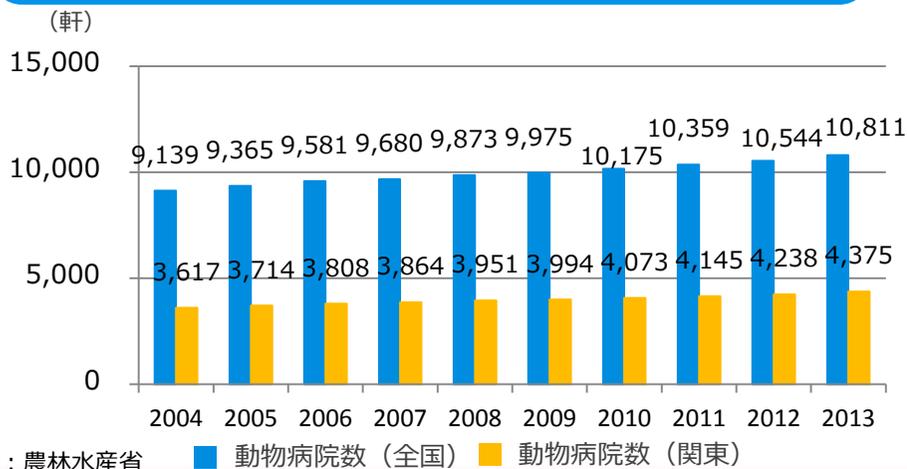
ペット市場の現状①

犬の登録頭数・注射頭数の推移（全国・関東）



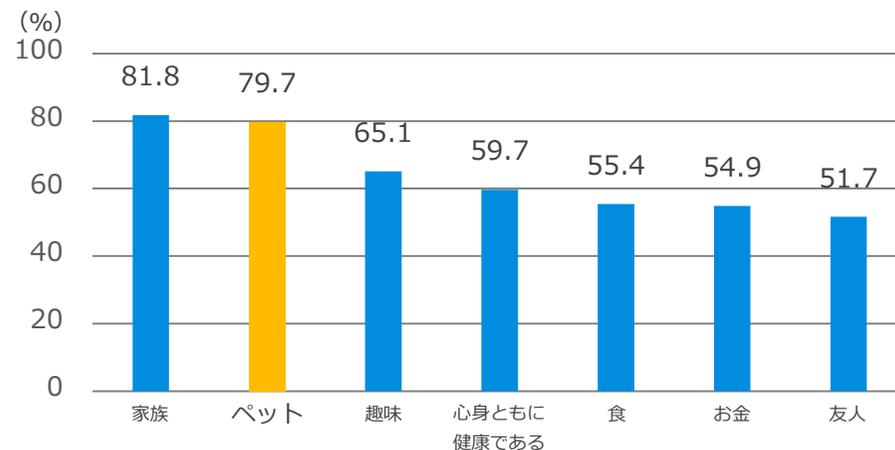
出所：厚生労働省

動物病院数（全国・関東）



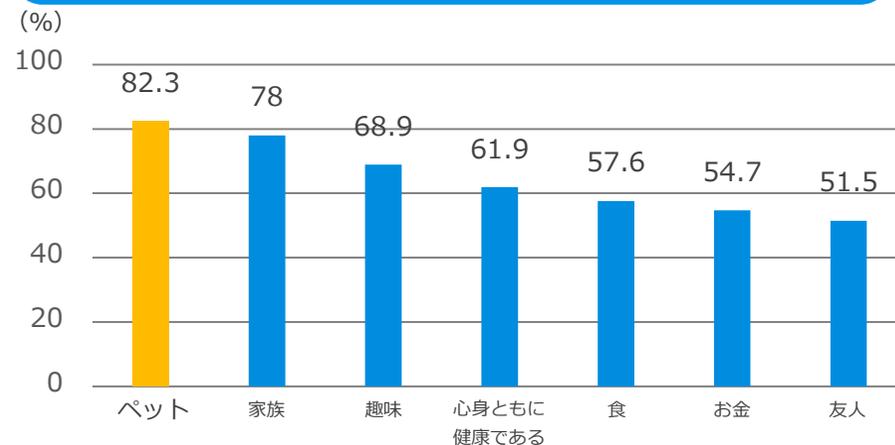
出所：農林水産省

生活に喜びを与えるもの 犬飼育者



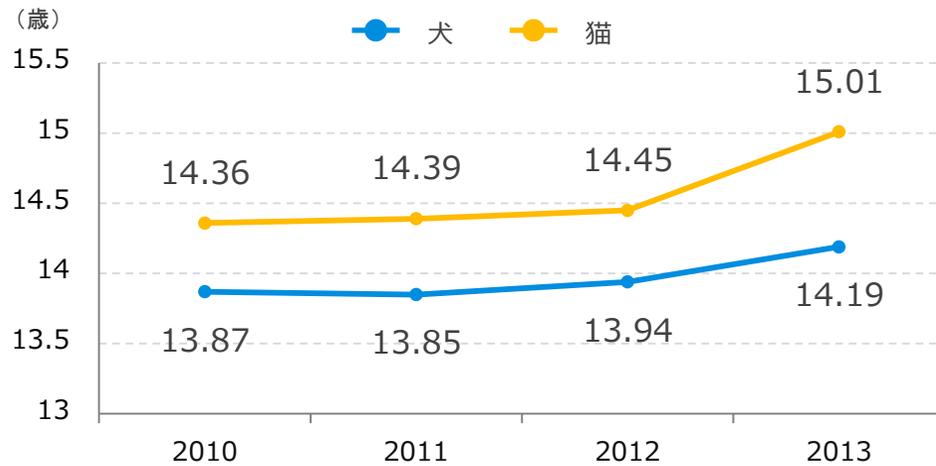
出所：日本ペットフード協会

生活に喜びを与えるもの 猫飼育者



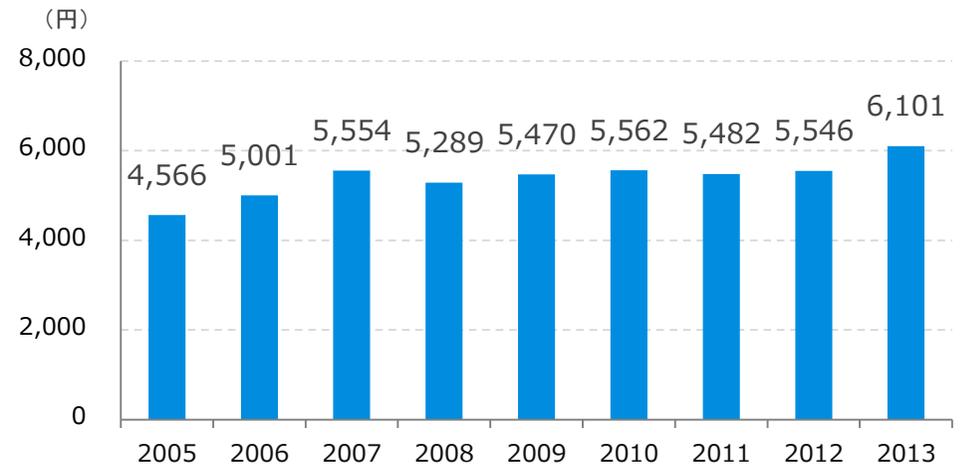
出所：日本ペットフード協会

犬・猫の平均寿命



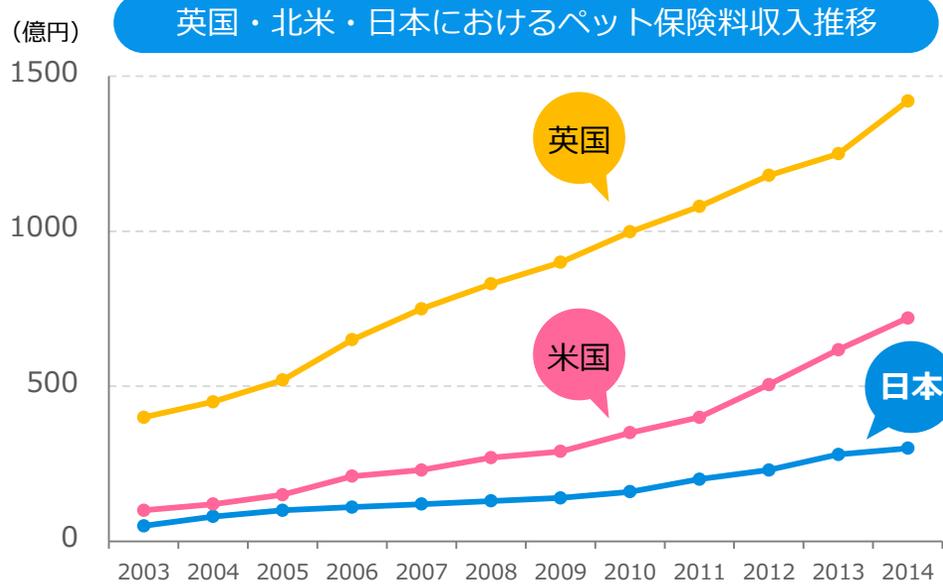
出所：日本ペットフード協会

1世帯当たりの動物病院代の年間支出額（2人以上の世帯）



出所：総務省「家計調査」

ペット保険の現状



英国市場は2010年以降4年間、対前年比9%成長を予測

*Datamonitor 社『UKPetinsurance2011』

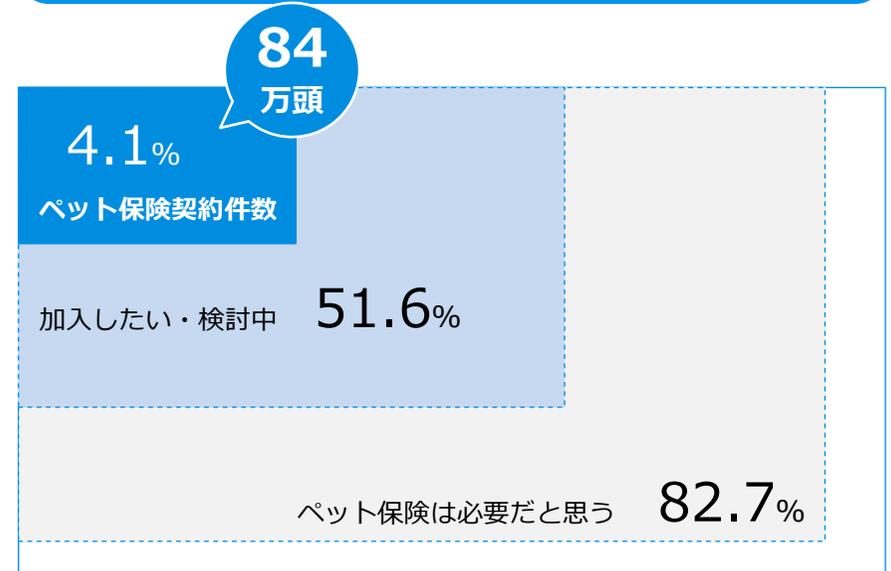
米国市場は今後5年で55%程度の成長予測

*Packaged Facts社『Pet Insurance in North America,5th Edition』

日本市場は2013年度以降2年間、対前年比10%程度の成長を予測

*(株)富士経済『2013年ペット関連市場マーケティング総覧』

ペット保険市場拡大の可能性



【出所】

国内飼育頭数：日本ペットフード協会
 ペット保険契約件数：富士経済
 ペット保険加入意向：ペット総研

国内における犬猫飼育頭数（2013年）

2,061万頭

国内のペット保険契約数は約84万頭（約4.1%）

「ペット保険は必要である」との認識は高いことから、ニーズは拡大傾向で推移と想定。

1 一次診療施設数の増加

- 全国的に一次診療施設数は増加傾向

2 高度医療（二次診療）ニーズの高まり

- ペットの寿命拡大による重篤な疾病の増加

3 ペット保険の成長可能性

- ペット保険の拡大により高額な医療を受けやすい環境が整う



二次診療市場の高い成長性



3 .JARMeCグループの事業戦略

関東の二次診療施設の比較

病院名	 JARMeC Japan Animal Referral Medical Center	獣医科大学 (関東には5つ)	単科二次診療所
所在地	神奈川県川崎市	東京都内・相模原市・藤沢市	—
診療の特徴等	365日営業 CT・MRI・放射線・PET	土日祝・夏季・年末年始休業 CT・MRI・放射線	日曜・年末年始休業
獣医師数	57 (2015年1月31日現在)	16~31 *	数名
診療科数	11	10~19	1
競合の状況	以下に記載	学生の教育に重点 急患への対応が難しい	総合診断の対応が難しい 大型投資が難しい

* 教員のみ、非常勤を含む

JARMeCの特徴

高度医療機器

放射線治療装置・PET・免疫治療・体外循環器等、大学以上の設備機器を揃える。

高品質なサービス

365日診療、予約の速さ（原則当日または翌日に初診を受入れ）、
簡便さ（一次診療施設担当医の電話により受入れ可能）は評価高い。

チームによる診療体制

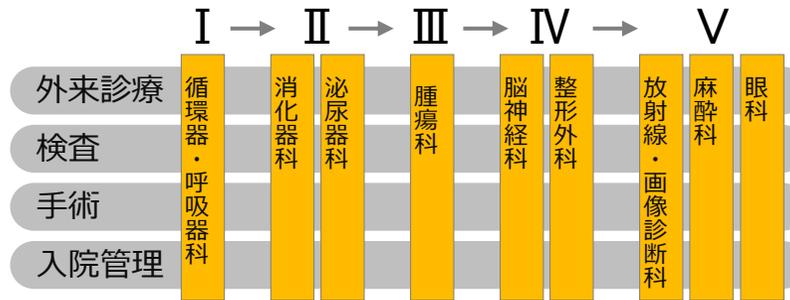
専門診療科において複数の獣医師・スタッフによる担当チームを組成。
必要な場合、複数の診療科が協力して担当。
獣医師数は非常勤を含め57名と、他と比較して多い。

卒後臨床研修は、大学卒業後2年間に体系的なカリキュラムと指導体制のもとで、獣医師としての人格や価値観を育成し、患者動物を体系的に診ることができる基本的な診療能力を習得することを目的とする。

卒後臨床研修プログラム

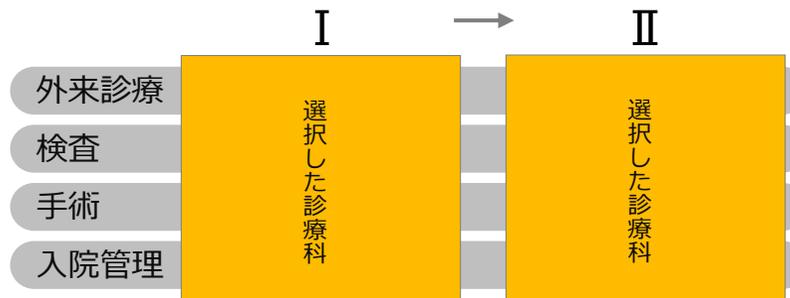
臨床研修医

1年目 各診療科ローテーション研修



業績評価

2年目 選択した専門診療科での実践研修



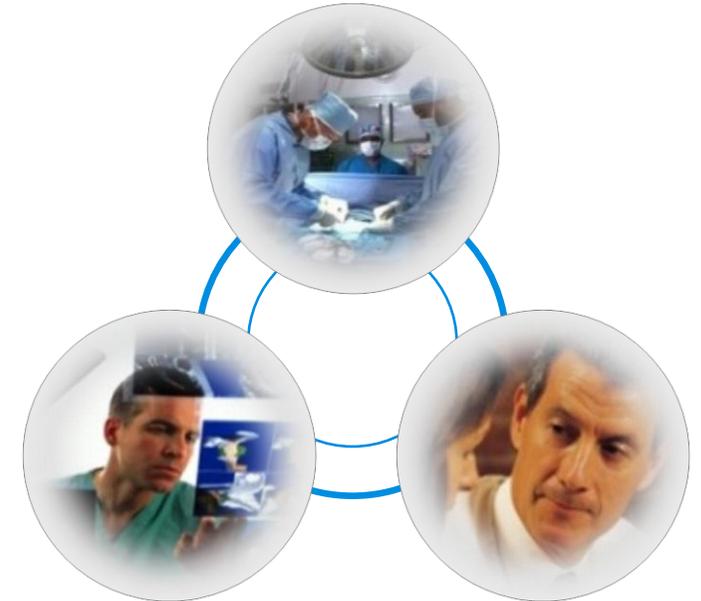
業績評価・終了認定

勤務医

3C Skills

Clinical Skill

クリニカルスキル



Conceptual Skill

コンセプチュアル
スキル

Communication Skill

コミュニケーション
スキル

平成21年3月31日

民間では初となる
「小動物臨床研修施設指定」を
農林水産省より受ける。

より専門性および公共性の高い施設を目指す。
将来、優秀な人材を育て輩出することができる。

20消安第13377号
平成21年3月31日

株式会社日本動物高度医療センター
代表取締役 金重辰雄 殿

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課長

「獣医師法第十六条の二第一項の規定に基づき農林水産大臣の指定する
診療施設を指定する件の一部を改正する件」について

このことについて、先般、貴殿から小動物臨床研修診療施設（単独型臨床研修施設）の指定申請がありました日本動物高度医療センター（神奈川県川崎市）は、本日をもって獣医師法（昭和24年法律第186号）第16条の2第1項の規定に基づく農林水産大臣の指定する診療施設として指定され、これに伴い、別紙のとおり告示が改正されましたのでお知らせします。

なお、「臨床研修診療施設の指定について」（平成4年9月21日付け4畜A第2264号農林水産省畜産局長通知）の記の2（4）のとおり、診療施設の廃止等により臨床研修を実施できなくなった場合（当該施設の整備内容の変更により、小動物臨床研修診療施設指定基準を満たさなくなった場合又はそのおそれがある場合を含む。）並びに当該施設の名称及び住所に変更があった場合は、速やかに農林水産大臣にその旨を報告するよう、お願いいたします。



4.成長戦略

拠点拡大

現在

川崎本院・名古屋分院

▶ 全国各地に積極的に施設の展開を推進。

営業強化

提携病院訪問、セミナー開催、講師派遣などの対外活動を活発化、紹介数の増加に繋げる。

IPOにより

知名度向上、優秀な人材の確保。

上場による資金調達手段の多様化で拠点拡大を推進。